



あれこれ通信

しぶやとみこの議会報告

NO. 54

2008年4月25日

渋谷とみ子の会

埼玉県比企郡嵐山町平沢 254-64

Tel / Fax 0493-62-7997

<http://www.k2.dion.ne.jp/~saiko/shibuya/>

Eメール shibuya97@s4.dion.ne.jp

便利で使いやすい路線バスとデマンド交通を

嵐山町は、自家用車がないと生活が不便、日用品の買い物も不便です。

高齢化すると、それまでは自家用車で買い物・病院・銀行などにいけた人も、自動車の運転が不安です。今、家族がいることを前提としたまちづくりですが、一人暮らしの人が多くなることも考える必要があります。路線バスのほか、デマンド交通があると便利です。デマンド交通は、自分の家のドアからいきたいところまで、自由に外出できる新しい交通システムです。

ワゴン車でドアからドアへ、必要な人が乗りあって、それぞれの必要な場所まで行きます。

根岸・將軍沢・大蔵・鎌形・遠山・古里・越畑・吉田など町中心部から距離のある地区は、学校への登下校に自動車を利用できると安心です。朝は、駅までの通勤通学への利用、通学・下校時は、遠距離の小学生の利用、幼稚園の通園時間では、幼稚園の通園バスも兼ね、地域の方も利用、幼稚園・小学生の利用時間外は、地域の方が利用する方法が考えられます。幼稚園の子と大人では座席の

大きさが違うのですが。。・利用したい時、電話で連絡し、他の利用者の希望によっても乗り合うので順路がいろいろです。タクシーよりも安上がりで、町の負担はバス路線を増やすより少ないのです。



先進地ではデマンド交通の運行は、タクシー、バス会社で、行政、商工会、社会福祉協議会が協力します。嵐山と広域路線バスを委託しているときがわ町は、デマンド交通導入検討会を設置する予定。

広域路線バスは、ときがわ町第2庁舎(旧都幾川村役場)、ときがわ町日影行き、循環器センター行きの3路線です。路線バスH18年の利用者は1日平均88人でした。H19年は1日平均110人で増えています。路線バスの順路は、大店舗を通らないので不便だと聞きます。歩くしか交通手段がない場合、住宅街にお店をつくることのほか、大店舗の農協直売所などを通る路線が必要です。要望の多い場所を通るといいですね。足が弱くても、身体が不自由でも、自由に移動する権利は、様々な方法で保障してほしいですね。